

エコ・リサイクル総会 2018 報告

第 14 期 通常 社員 総会 議事録



平成30年5月17日（木）武蔵浦和コミュニティセンター
8階 第7集会室
社員総数62名（3月末現在）出席51名（本人出席17名、
委任状34名）
司会：土淵 昭氏 議長：清水 守氏
来賓：埼玉県環境部資源循環推進課 白鳥証一副課長



議題

第1号議案 平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）事業報告承認の件

第2号議案 平成29年度活動計算書、財産目録及び貸借対照表承認の件

第3号議案 平成30年度役員選任の件

第4号議案 平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）事業計画承認の件

第5号議案 平成30年度活動予算承認の件

議長は上記各議案を上程し、議決を求めたところ、賛成多数により原案どおり承認可決した。

平成30年度役員は会長に石川恵輪氏が就任し新理事として佐藤正和氏が承認され原案の下記理事12名及び監事2名の候補者につき議決を求めたところ、賛成多数により原案どおり承認可決し、選任された理事及び監事は、その場で、就任を承諾した。

総会終了後、別会場において第2回理事会を開き、役員互選を報告した。

理 事	石 川 恵 輪（再任）	理 事	大 前 万寿美（再任）
理 事	上 領 園 子（再任）	理 事	齊 藤 勉（再任）
理 事	佐 藤 正 和（新任）	理 事	高 木 康 夫（再任）
理 事	高 橋 茂 仁（再任）	理 事	土 淵 昭（再任）
理 事	轟 涼（再任）	理 事	中 澤 啓 子（再任）
理 事	原 田 史（再任）	理 事	宮 田 尚 美（再任）
監 事	島 田 憲 一（再任）	監 事	平 田 繁（再任）

総会記念講演報告

「食品ロスを減らそう」

埼玉県環境部資源循環推進課 山本奈美枝氏

資源循環推進課では、主な業務として一般廃棄物処理と事業系一般廃棄物削減対策、寄居の官民連携施設である彩の国資源循環工場整備事業などを行っています。

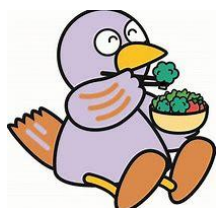
「食品ロス」ってなんだろう？

食品ロスとは、食べることができるのに捨てられてしまう食べ物のこと。H29年1月の県政サポーターアンケートでは、全世代平均では72.1%が言葉も意味も知っていると言ったが20代では51.3%と低くなっています。

2015年国連総会にて持続可能な開発のための2030アジェンダ（行動計画）を採択。『目標12 持続可能な生産消費形態を確保する』の3つ目、2030年までに小売り・消費レベルにおける世界全体の1人当たりの食糧の廃棄を半減させ、収穫後損失など生産・サプライチェーンにおける食品ロスを半減させる。と、食品ロス削減に関する国際的な関心が高まっています。

日本の食品ロスの大きさはどれくらい？

日本の食品ロス量は、H27年度推計値で646万トン。これは、世界全体の食糧援助量、年間約320万トンの約2倍の量。H26年度推計値が621万トンなので増えています。日本で1年間にとれたお米は約782万トンです。



では、日本人、国民一人一日当たりで考えると毎日、御茶わん何杯分のご飯を捨てるのと同じでしょうか？答えはおよそ1杯分、139gです。

食品ロスは、どこから発生しているの？

お店や飲食店などから55%、私たちの家庭から45%です。私たちの生活する中で減らすことができることをいつも頭の片隅においておきましょう。

食品製造業・卸売業からは、包装が破損した食品、過剰生産、在庫など、約140万トンが廃棄されています。スーパーやコンビニなど食品小売業からは、シーズン商品の入れ替えや売れ残り商品など67万トン廃棄。外食産業からは、仕込み食材の残りや食べ残しが133万トン廃棄されています。

現在、食品業界での納品期限の商習慣「3分の1ルール」が食品ロスを増やしているとして、納品期限を延ばす取組が行われています。

外食産業の課題

特徴として、①調理された食品には多種類の成分が含まれている。②異物混入の危険性がある。③1店舗当たりの発生量は少ないが事業者数が多い。食品残渣から品質の安定した堆肥を作るには、一定基準以上でないと難しいことや、安くして売りきる対応はしにくいことなどからリサイクルが進んでいません。

税理士法人 T&M ソリューション

毎月第2水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎ 03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

埼玉県庁の食堂から生ごみが1日10キログラム程度出るので、昨年まで2年間生ごみ処理器「キューロ」で堆肥化の実証実験を行いました。

家庭の食品ロスにはどんなものがあるの？

H26年度農林水産省「食品ロス統計調査・世帯調査」では、家庭の一人一日当たり①食べ残しが11.2g ②使われずに直接廃棄したものが7.3g ③皮のむきすぎなどの過剰除去が22.4gとなっています。

埼玉県の取組

○「食品ロス」を知らない割合が高い20歳代を対象とした削減努力として、県内の大学にコープデリ生活協同組合連合会やNPO法人フードバンク埼玉の専門家を派遣しています。

○中身に問題はない（賞味期限は切れていない）が通常の販売が困難な未利用品を食品関連事業者から寄附を受け、福祉施設、子ども食堂、支援団体や個人などに無償で提供する取組が**フードバンク活動**です。県では災害備蓄品を買い替えのタイミングでフードバンク埼玉に寄贈しました。



○民間の**食品関連事業者とフードバンクをマッチング**する取組をH29年度から実施しています。県がフードバンクとの間を仲立ちすることで、食品事故や転売を心配する企業に安心感を持って食品を提供してもらえます。フードバンクに食品を提供することで、事業者はこれまで廃棄されていた食品で社会貢献ができるようになります。

○個人でもできる活動として**フードドライブ**があります。家庭や職場で余っている食品などを集め、フードバンクに寄附するボランティア活動です。定期的に寄附を継続することが大切で、新米に切り替わる時期の古米などは量が見込めます。

○食べきり Sa i Ta Ma 大作戦

その1 **食べきりスタイル**（出かける前に冷蔵庫などをチェックし買いすぎない、使い切る、別の料理に変身させて食べきる）。

その2 **食べきりタイム** 自分の席から離れることが多いために食べ残しの多くなってしまいう宴会で、締めめの前の15分を食べきりタイムとする（宴会の食べ残しは食品提供量の18.9%）。

その3 **食べきりメニュー**（小盛りメニューの設定や食べきりの呼びかけなどを行っている飲食店などを登録する彩の国エコぐるめ協力店はH29年度末で185店舗、春日部市は登録件数が多い）

○賞味期限と消費期限の違いを正しく理解し、期限を過ぎたら食べないほうが良い消費期限の迫っているものから迷わず消費しましょう。

できるところからはじめよう もったいないを意識するだけで食品ロスが減る？

H22年度山口県「家庭における生ごみ排出量の実態調査」から食品ロスを減らすことを意識しながら生活したら、約15%も生ごみが減ったとの報告があります。

それぞれが目標を持って取り組みましょう。

【私の行動宣言】の発表 講演会に出席したひとりひとりが生活をふりかえり、情報共有しました。 （報告 大前万寿美）

桜エコフェスタに展示参加して

ゴミを知ろう委員会 上領園子

11月26日さいたま市桜環境センターで桜環境フェスタが開催され展示参加してきました。

グラフ作りの天才かと思う中澤さんの苦心の賜物の各種グラフを石川会長がラミネート加工してくださり良い展示ができました。

1枚目のグラフは「さいたま市の焼却場とその内容」と題してさいたま市の地図上に4焼却場の位置するところへ、その焼却場が焼却しているごみの湿ベースによる組成を円グラフで示したものです。

このグラフからそれぞれの焼却場の特徴がわかります、それにしても全体に生ごみの焼却が多いです。2枚目の「1人1日あたりの焼却ごみの量」と合わせて水分量の多い生ごみが多いということの環境的、経済的負荷についての説明をしました。

3枚目以降は他自治体との比較です。「1人一日当たりのごみの量」を事業系と生活系を色分けした棒グラフで比較しています、さいたま市は県平均と比較して事業系がやや多いですがほぼ平均です。このグラフを見て面白いのは生活系のごみが多い自治体は事業系も平均より多いのです、ここでは触れませんがこのグラフからいろんなことが考えられます。

展示スペースの関係で展示できないぶんは展示パネル前の机に置いて、説明の流れの中で利用しました。「1人一日の焼却ごみの量」は県平均よりやや多めですが『県内焼却場の年間処理量』となりますとさいたま市の4つの焼却場の合計ですと県内1、2の焼却量の多さになります。と言った説明をしました。一般市民の他に焼却場の建設に携わった方や元大学の先生などが大変熱心に聴いてくださり、これだけの資料を集めてグラフ化し、発表していることに感心し褒めていただきました。

この「環境フェス」は3年目になりますが環境関係の団体は年々減り続けて今回は当会と他に1団体の2団体でした。

屋内外を含め福祉関係の出店や活動サークの体験工作と作品の販売が多く、昼食に中澤さんとそんなお店で買って済ませました。

その他に音楽関係のサークルの演奏やダンスなどが次々行われて、一日中大変賑やかでした。

創業
昭和3年 **珍来**

www.chinrai.co.jp

1、はじめに

昨年度のエコリサ研修見学会で「地域社会の環境美化」を企業理念におき「都市型堆肥事業を主とする」大村商事様の事業を見学させて戴く機会を得ました。

その際に見学記念として戴いた「一袋の堆肥」が架け橋となり、(財法)さいたま市公園緑地協会と協議して賛同を戴き、私の居住するさいたま市南区の「国際児童年記念児童遊園・白幡公園」内の一角に 9.5 m²の花壇造成を施工しました。但し花壇に関わる費用(肥料・培養土・苗・種・球根等の購入費)は全て使用する市民の個人負担が条件で使用許可を戴きました。

その後花壇運営を軌道に乗せる事ができ、下記写真の様な草花の栽培に伴い花壇への集いが始まり、『①(財法)さいたま市公園緑地協会に協力 ②しらはたラジオ体操クラブの活動 ③さいたま市長寿応援制度への積極的参加 ④子供たちの心のふるさとづくり』を推進しております。

私達はこれらを「公園花壇が育む四つの輪」と称し地域コミュニケーションを図る一環として活動しておりますので、その一端を紹介させて戴きます。



2、花壇造成に至った背景

白幡公園は樺・檜等の巨木が多く草花は皆無で以前から地域住民による花壇造りの要望が有る中で、私が代表となって5人の仲間と「白幡公園をきれいにする会」を設立しました。

又、スキャンパスエラーは承知の上で花壇造りへの醸成を企てる事としました。



読売旅行 読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも
さいたま営業所 ☎048-640-4343 FAX048-644-7674

花壇に適した土壌づくりと栽培品種

花壇区域となる場所の雑草除去をしたが土質が劣化状態であった為、苦土石灰を散布後4週間ほどねかせ、その間有機肥料(窒素(葉)=8 ・リン酸(花実)=10 ・カリ(茎)=10)を施肥。土壌の整地を加速するために市販の培養土を施し、当面の栽培は「百合・カンナ・ほうずき・すずらん」とした。

その後、エコリサ会員の上領園子さんから「水仙6種70本」の苗を頂き花壇に増殖しました。

化学は専門外の5人ですが体制は整い公園緑地協会殿に協力出来ると判断した。【一の輪】

3、しらはたラジオ体操クラブの活動とさいたま市長寿応援制度への積極的参加

「しらはたラジオ体操クラブ」は白幡公園を拠点として16年前に発足し現在会員53名で毎朝活動。

昨年度は年間平均出席=308 日を記録する事が出来たがセグメント化現象は顕著である。メンバーには毎朝花壇に咲く草花を堪能して戴き各自の健康管理の一助になる事を切望【二の輪】

「さいたま市長寿応援制度」は、市民の健康増進による国民健康保険の財務削減の為に、65歳以上の住民を対象に平成24年10月から開始された。

参加者には一回につき一枚のシール(20円の奨励金)が交付され年間250枚を限度に申請できる制度。我が「しらはたラジオ体操クラブ」は全員本制度に参加し医療費削減に寄与できるように努力している。【三の輪】

4、子供たちの心のふるさとづくりを後押し

花壇には「丹波ほおずき」の種を蒔き、発芽後本葉が6~8枚の頃、有機質が多めの腐葉土を施した場所に植えた。一説によりますとほおずきには、「嫁ぎ行く我が子に、2本の苗を持たせ多幸と幾多の困難を乗り越える気持ちを託した」と言われています。

白幡公園にも多くの子供たちが来ます。幼き日々の「ほおずきのうてな」が、心のふるさとづくりの後押しとなる様な花壇づくりを今後も進めてゆきます。【四の輪】

5、終わりに

エコリサ研修見学会で得た知識・情報が地域の人達と共有(活性化)することが出来ました。

今年度は8月に野田市の見学が計画されましたので、見学企業の生産技術・製造工程を幅広く吸収できればと考えます。

多数の参加者と親睦を深めて有意義な見学会にしたいと思います。



一般
社団法人 繊維リサイクル協会

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>

資源循環推進課コーナー

平成28 年度の一般廃棄物(ごみ)の排出及び処理状況等について

～ごみの総排出量は5 年連続で減少～

埼玉県内の一般廃棄物(ごみ)の排出及び処理状況等(平成28 年度)について調査結果を公表しました。この調査は、環境省の「一般廃棄物処理事業実態調査(平成28 年度実績)」に基づき収集したデータを取りまとめたものです。

1 ごみの排出・処理状況(概要)

(1)ごみの排出状況 ～ごみの総排出量は5 年連続で減少～

ごみの総排出量は前年度に比べて1.9%減の232 万3 千トンとなり、5 年連続で減少しました。また、県民1 人1 日当たりのごみ排出量は前年度に比べ1.9%減の867 グラムとなり、11 年連続で減少しました。

(2)ごみの処理状況 ～リサイクル量・最終処分量は減少～

リサイクル量は56万6千トンで前年度に比べて3. 0%減少しました。リサイクル率は24.5%で、前年度に比べて0.2ポイント減となりました。また、最終処分量は10万4千トンで、前年度に比べて5.3%減少しました。県民1人1日当たりの最終処分量も39グラムで、前年度に比べて5.3%減となっています。

2 施設整備状況

(1)ごみ焼却施設の状況

・平成28年度に新設されたごみ焼却施設は以下の2施設です。

東埼玉資源環境組合第二工場ごみ処理施設(平成28年4月1日稼働)

ふじみ野市・三芳町環境センター(平成28年10月31日稼働)

・県内市町村の稼働施設数 47 か所(処理能力9,494 トン/日)

・発電施設を有する施設 17 施設(発電能力9.3 万kW)

(2)最終処分場の状況

平成28 年度に新設された最終処分場はありません。

・最終処分量 10.4 万トン/年(うち県内処分量 4.6 万トン/年)

・最終処分場の残余容量(平成28 年度末) 199 万 m^3 (うち環境整備センター 114 万 m^3)

※上記の残余容量は、約32年分の最終処分量に相当します。

3 廃棄物処理事業経費の状況

年間の県民1 人当たりのごみ処理費用は13,433 円で、前年度に比べて3.5%減少しました。これは、平成27 年度に東埼玉資源循環組合第二工場が完成し、建設改良費が減少したことが主な理由です。

4 3R取組の県内トップ

リデュースやリサイクルなどに関し、市・町村ごとの県内トップは次のとおりです。

(1)リデュース(1 人1 日当たりのごみ排出量)【市】蓮田市743 グラム、【町村】東秩父村642 グラム

(2)リサイクル(リサイクル率)【市】加須市39.1%、【町村】宮代町39.1%

(3)エネルギー回収(ごみ焼却量当たりの発電電力量) 東埼玉資源環境組合(第二工場)689kWh/トン

5 県民の皆様へのお願い

県内の最終処分場の残余容量には限りがあります。環境負荷低減のためにもごみの分別をしっかりと行い、食品ロス削減やマイバック・マイボトルの利用など、ごみを出さないライフスタイルを心がけましょう。



エコ・リサ研修見学会のお知らせ

研修見学会実施期日：平成30年8月23日（木）雨天決行

参加費：1名 会員3,000円、非会員3,500円（博物館の入館料込）

（昼食は各自用意ください。茨城県自然博物館内にレストランもございます。）

申込み締め切り8月10〔金〕（但し、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。）

行 程 表

集合場所 JR 南越谷駅南口（東武線新越谷駅東口）パチンコ T・NET 前 集合出発時間
9：00（時間厳守）＝コープネットエコセンター（野田市）（10：00～11：40）
＝茨城県自然博物館・昼食（12：00～13：00）・博物館見学（13：00～14：30）
＝キッコーマン醤油工場見学（15：00～16：00）＝JR 南越谷駅東口（東武線新越谷駅南口）17：00頃解散

※詳しくは同封のチラシをご覧ください



ゴトーグループ
快適な環境づくりのお手伝い。
村岡営業本部 ☎048-537-0555
ゴトーグループ <http://www.510goto.co.jp>

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055 不動産・商業登記全般

編集後記：2018 エコ・リサ総会のご報告をいたします。食品ロスについては、NHK の番組でも取り上げられました。フードバンク、フードドライブなどという言葉も耳にするようになりました。大切な食料をゴミにしないで生かしていこうという取り組みです。暮らしの当たり前になることを祈って、まず、エコ・リサの研修に参加いたしましょう！！轟 涼